

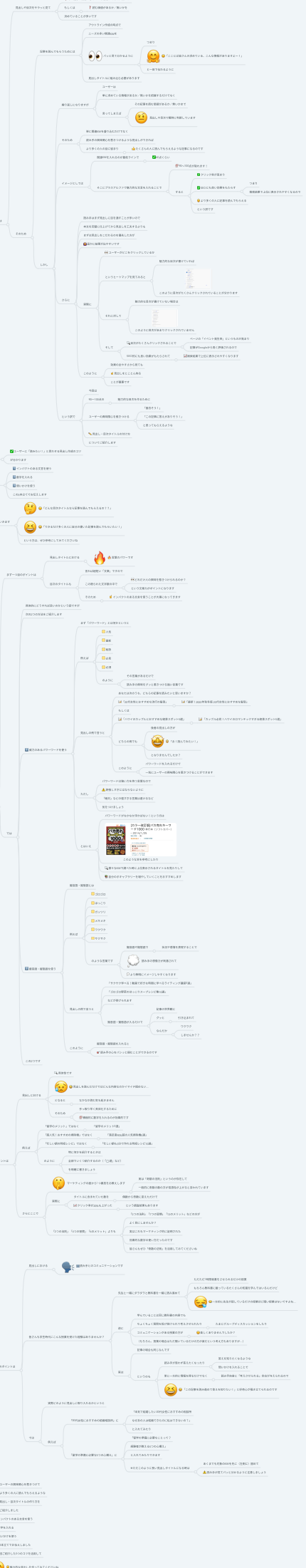
言葉が話すその興味を惹きつける見出し作成のコツ

インパクトのある文章を書く

数字を入れる

思い込ませる

感嘆詞



2章4項読み手の興味を惹きつける見出し作成のコツ

1. 今回の話題

1.1. ユーザー（読み手）は

1.1.1. 見出しや目次をサラッと見て

1.1.1.1. その記事に自分の求めている情報があるか／無いか

1.1.1.2. もしくは

1.1.1.2.1. 読む価値があるか／無いかを

1.1.1.3. 決めていることが多いです

1.1.2. そのため

1.1.2.1. 記事を読んでもらうためには

1.1.2.1.1. アウトライン作成の時点で

1.1.2.1.2. ニーズの多い関連KWを

1.1.2.1.3. パッと見て分かるように

1.1.2.1.3.1. つまり

1.1.2.1.3.2. 「ここには皆さんの求めている、こんな情報がありますよ〜！」

1.1.2.1.3.3. と一目で伝わるように

1.1.2.1.4. 見出しタイトルに組み込む必要があります

1.1.2.2. しかし

1.1.2.2.1. 繰り返しになりますが

1.1.2.2.1.1. ユーザーは

1.1.2.2.1.2. 単に求めている情報があるか／無いかを把握するだけでなく

1.1.2.2.1.3. 言ってしまえば

1.1.2.2.1.3.1. その記事を読む価値があるか／無いかまで

1.1.2.2.1.3.2. 見出しや目次で瞬時に判断しています

1.1.2.2.2. そのため

1.1.2.2.2.1. 単に関連KWを盛り込むだけでなく

1.1.2.2.2.2. 読み手の興味関心を惹きつけるような見出しができれば

1.1.2.2.2.3. より多くの人の目に留まり

1.1.2.2.2.3.1. たくさんの人に読んでもらえるような記事になるのです

1.1.2.2.3. イメージとしては

1.1.2.2.3.1. 関連KWを入れるのが最低ラインで

1.1.2.2.3.1.1. 60点くらい

1.1.2.2.3.2. そこにプラスアルファで魅力的な文言を入れることで

1.1.2.2.3.2.1. 90~100点が取れます！

1.1.2.2.3.2.2. すると

1.1.2.2.3.2.2.1. クリック率が高まり

1.1.2.2.3.2.2.2. SEOにも良い効果をもたらす

1.1.2.2.3.2.2.2.1. つまり

1.1.2.2.3.2.2.2.2. 検索結果で上位に表示されやすくなるので

1.1.2.2.3.2.2.3. より多くの人に記事を読んでもらえる

1.1.2.2.3.2.2.4. という訳です

1.1.2.2.4. さらに

1.1.2.2.4.1. 読み手はまず見出しに目を通すことが多いので

1.1.2.2.4.2. 本文を完璧に仕上げたから見出しを工夫するよりも

1.1.2.2.4.3. まずは見出しをこだわるのを優先した方が

1.1.2.2.4.4. 遥かに結果が出やすいです

1.1.2.2.4.5. 実際に

1.1.2.2.4.5.1. ユーザーがどこをクリックしているか

1.1.2.2.4.5.2. というヒートマップを見てみると

1.1.2.2.4.5.2.1. 魅力的な目次が書けていれば

1.1.2.2.4.5.2.2. このように目次がたくさんクリックされていることが分かります

1.1.2.2.4.5.3. それに対して

1.1.2.2.4.5.3.1. 魅力的な目次が書けていない場合は

1.1.2.2.4.5.3.2. このように目次があまりクリックされていません

1.1.2.2.4.5.4. そして

1.1.2.2.4.5.4.1. 目次がたくさんクリックされることで

1.1.2.2.4.5.4.1.1. ページの「イベント発生率」というものが高まり

1.1.2.2.4.5.4.1.2. 記事がGoogleから高く評価されるので

1.1.2.2.4.5.4.2. SEO的にも良い効果をもたらされて

1.1.2.2.4.5.4.2.1. 検索結果で上位に表示されやすくなります

1.1.2.2.4.6. このように

1.1.2.2.4.6.1. 効果の出やすさから見ても

1.1.2.2.4.6.2. 見出しをとことん拘る

1.1.2.2.4.6.3. ことが重要です

1.1.2.2.5. という訳で

1.1.2.2.5.1. 今回は

1.1.2.2.5.2. 90～100点の

1.1.2.2.5.2.1. 魅力的な目次を作るために

1.1.2.2.5.3. ユーザーの興味関心を惹きつける

1.1.2.2.5.3.1. 「面白そう！」

1.1.2.2.5.3.2. 「この記事に答えがありそう！」

1.1.2.2.5.3.3. と思ってもらえるような

1.1.2.2.5.4. 見出し・目次タイトルの付け方

1.1.2.2.5.5. についてご紹介します

1.2. この動画をみれば

1.2.1. ユーザーに「読みたい！」と思わせる見出し作成のコツ

1.2.2. が分かります

1.3. 目次はこの通りです

1.3.1. インパクトのある文言を使う

1.3.2. 数字を入れる

1.3.3. 問いかけを使う

1.3.4. この3本立てでお伝えします

1.4. それでは、説明していきます

1.4.1. 「どんな目次タイトルなら記事を読んでもらえるの??」

1.4.2. 「できるだけ多くの人に自分の書いた記事を読んでもらいたい！」

1.4.3. という方は、ぜひ参考にしてみてくださいね

2. インパクトのある文言を使う

2.1. まず一つ目のポイントは

2.1.1. 見出しタイトルにおける

2.1.1.1. 言葉のパワーです

2.1.2. 目次のタイトルも

2.1.2.1. 言わば超短い「文章」ですので

2.1.2.2. この限られた文字数の中で

2.1.2.2.1. どれだけ人の興味を惹きつけられるのか？

2.1.2.2.2. という文章力がポイントになります

2.1.2.3. そのため

2.1.2.3.1. インパクトのある文言を使うことが大事になってきます

2.2. では

2.2.1. 具体的にどうすれば良いのかという話ですが

2.2.2. 次の2つの方法をご紹介します

2.2.3. 威力のあるパワーワードを使う

2.2.3.1. まず「パワーワード」とは何かというと

2.2.3.2. 例えば

2.2.3.2.1. 人気

2.2.3.2.2. 最新

2.2.3.2.3. 秘訣

2.2.3.2.4. 必見

2.2.3.2.5. 必須

2.2.3.2.6. のように

2.2.3.2.6.1. その言葉があるだけで

2.2.3.2.6.2. 読み手の興味をグッと惹きつける強い言葉です

2.2.3.3. 見出しの例で言うと

2.2.3.3.1. あなたは次のうち、どちらの記事を読みたいと思いますか？

2.2.3.3.2. 「20代女性におすすめな流行の髪型」

2.2.3.3.2.1. 「最新！2022年秋冬版 20代女性におすすめな髪型」

2.2.3.3.3. もしくは

2.2.3.3.4. 「ハワイのカップルにおすすめな絶景スポット5選」

2.2.3.3.4.1. 「カップル必見！ハワイのロマンチックすぎる絶景スポット5選」

2.2.3.3.5. どちらの例でも

2.2.3.3.5.1. 後者の見出しの方が

2.2.3.3.5.2. 「お！読んでみたい！」

2.2.3.3.5.3. となりませんでしたか？

2.2.3.3.6. このように

2.2.3.3.6.1. パワーワードを入れるだけで

2.2.3.3.6.2. 一気にユーザーの興味関心を惹きつけることができます

2.2.3.4. ただし

2.2.3.4.1. パワーワードは強い力を持つ言葉なので

2.2.3.4.2. 誇張しすぎにはならないように

2.2.3.4.3. 「絶対」などの強すぎる言葉は避けるなど

2.2.3.4.4. 気をつけましょう

2.2.3.5. とはいえ

2.2.3.5.1. パワーワードがなかなか浮かばない！という方は

2.2.3.5.2. このような本を参考にしたり

2.2.3.5.3. 様々なKWで調べた時に上位表示されるタイトルを見たりして

2.2.3.5.4. 自分のボキャブラリーを増やしていくことをおすすめします

2.2.4. 擬音語・擬態語を使う

2.2.4.1. 擬音語・擬態語とは

2.2.4.2. 例えば

2.2.4.2.1. ゴロゴロ

2.2.4.2.2. ほっこり

2.2.4.2.3. ガッツリ

2.2.4.2.4. メキメキ

2.2.4.2.5. ワクワク

2.2.4.2.6. サクサク

2.2.4.2.7. のような言葉です

2.2.4.2.7.1. 擬音語や擬態語で

2.2.4.2.7.1.1. 状況や感情を表現することで

2.2.4.2.7.2. 読み手の想像力が刺激されて

2.2.4.2.7.3. より鮮明にイメージしやすくなります

2.2.4.3. 見出しの例で言うと

2.2.4.3.1. 「サクサク学べる！動画で好きな時間に学べるライティング講座5選」

2.2.4.3.2. 「ゴロゴロ野菜のほっこりスープレシピ集10選」

2.2.4.3.3. などが挙げられます

2.2.4.3.4. 擬音語・擬態語が入るだけで

2.2.4.3.4.1. 記事の世界観に

2.2.4.3.4.2. グッと

2.2.4.3.4.2.1. 引き込まれて

2.2.4.3.4.3. なんだか

2.2.4.3.4.3.1. ワクワク

2.2.4.3.4.3.2. しませんか??

2.2.4.4. このように

2.2.4.4.1. 擬音語・擬態語を入れると

2.2.4.4.2. 読み手の心をバシッと掴むことができます

2.2.5. この2つです

3. 数字を入れる

3.1. 次に二つ目のポイントは

3.1.1. 見出しにおける

3.1.1.1. 具体性です

3.1.1.2. 見出しを読んだだけではどんな内容なのかイマイチ掴めない...

3.1.1.3. となると

3.1.1.3.1. なかなか読む気も起きません

3.1.1.4. そのため

3.1.1.4.1. 手っ取り早く具体化するために

3.1.1.4.2. 積極的に数字を入れるのが効果的です

3.1.2. 例えば

3.1.2.1. 「留学のメリット」ではなく

3.1.2.1.1. 「留学のメリット5選」

3.1.2.2. 「超人気！おすすめの掃除機」ではなく

3.1.2.2.1. 「満足度90%超の人気掃除機5選」

3.1.2.3. 「忙しい朝の時短レシピ」ではなく

3.1.2.3.1. 「忙しい朝も3分で作れる時短レシピ10選」

3.1.2.4. のように

3.1.2.4.1. 特に何かを紹介するときは

3.1.2.4.2. 全部でいくつ紹介するのか（「○選」など）

3.1.2.4.3. を明確に書きましょう

3.1.3. さらにここで

3.1.3.1. マーケティングの面から1つ裏技をお教えします

3.1.3.1.1. 実は「奇数の法則」というのが存在して

3.1.3.1.2. 一般的に奇数の数の方が信憑性が上がると言われています

3.1.3.2. 実際に

3.1.3.2.1. タイトルに含まれていた数を

3.1.3.2.1.1. 偶数から奇数に変えただけで

3.1.3.2.2. クリック率が20%も上がった

3.1.3.2.2.1. という調査結果もあります

3.1.3.3. 「2つの法則」「4つの習慣」「6のメリット」よりも

3.1.3.3.1. 「3つの法則」「7つの習慣」「13のメリット」などの方が

3.1.3.3.2. よく目にしませんか？

3.1.3.3.3. 実はこれもマーケティング的に証明された

3.1.3.3.4. 効果的な数字の使い方だったので

3.1.3.3.5. 皆さんもぜひ「奇数の法則」を活用してみてくださいね

4. 問いかけを使う

4.1. そして三つ目のポイントは

4.1.1. 見出しにおける

4.1.1.1. 読み手とのコミュニケーションです

4.1.2. 皆さんも学生時代にこんな授業を受けた経験はありませんか？

4.1.2.1. 先生と一緒にダラダラと教科書を一緒に読み進めて

4.1.2.1.1. ただただ1時間板書をさせられるだけの授業

4.1.2.1.2. もちろん教科書に載っているたくさんの知識を学んではいるんだけど

4.1.2.1.3. 一方的に先生が話しているだけの授業ほど眠い授業はないですよ...

4.1.2.2. 逆に

4.1.2.2.1. 学んでいることは同じ教科書の内容でも

4.1.2.2.2. ちよくちよく質問を投げ掛けられて考えさせられたり

4.1.2.2.2.1. たまにグループディスカッションをしたり

4.1.2.2.3. コミュニケーションがある授業の方が

4.1.2.2.3.1. 楽しくありませんでしたか？

4.1.2.2.4. (もちろん、授業の場合はただ聞いているだけの方が楽だという考え方もありますが...)

4.1.2.3. 実は

4.1.2.3.1. 記事の場合も同じなんです

4.1.2.3.2. というのも

4.1.2.3.2.1. 読み手が思わず答えたくなったり

4.1.2.3.2.1.1. 答えを知りたくなるような

4.1.2.3.2.1.2. 問いかけを入れることで

4.1.2.3.2.2. 単に一方的に情報を得るだけでなく

4.1.2.3.2.2.1. 読み手自身に「考えさせられる」余白が与えられるので

4.1.2.3.2.3. 「この記事を読み進めて答えを知りたい！」と好奇心が掻き立てられるのです

4.1.3. では

4.1.3.1. 実際どのように見出しに取り入れるかということ

4.1.3.2. 例えば

4.1.3.2.1. 「30代女性におすすめの結婚相談所」に

4.1.3.2.1.1. 「本気で結婚したい30代女性におすすめの相談所

4.1.3.2.1.2. なぜあの人は結婚できたのに私はできないの？」

4.1.3.2.1.3. と入れてみたり

4.1.3.2.2. 「留学の準備に必要な5つの心構え」に

4.1.3.2.2.1. 「留学の準備に必要なことって？

4.1.3.2.2.2. 経験者が教える5つの心構え」

4.1.3.2.2.3. と入れてみたりできます

4.1.3.2.2.4. ※ただこのように長い見出しタイトルになる時は

4.1.3.2.2.4.1. あくまでも対象のKWを先に（左側に）固めて

4.1.3.2.2.4.2. 読み手が見てパッと分かるように注意しましょう

5. まとめ

5.1. 今回の動画では

5.1.1. ユーザーの興味関心を惹きつけて

5.1.2. より多くの人に読んでもらえるような

5.1.3. 見出し・目次タイトルの作り方を

5.1.4. ご紹介しました

5.2. 具体的には

5.2.1. インパクトのある文言を使う

5.2.2. 数字を入れる

5.2.3. 問いかけを使う

5.2.4. この3本立てでお伝えしました

5.3. 皆さんも

5.3.1. ぜひ今回ご紹介した3つのコツを活用して

5.3.2. 魅力的な見出しを作ってみてくださいね